



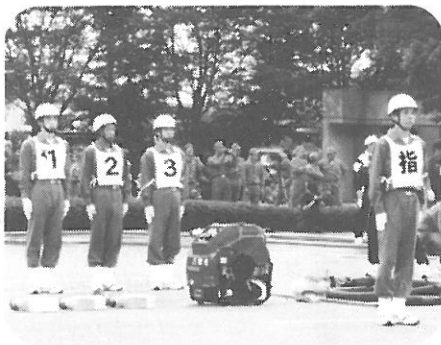
火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
松村芳治
八尾市高美町5-7
TEL(0729)92-0119
FAX(0729)92-7722



一致団結



夏の太陽が降り注ぐ9月2日(日)、府立消防学校において、府下消防団員1160名、車両39台が参加して、第45回大阪府消防大会が開催され、その中の消防操法訓練大会に中河内地区代表として、山本分団が小型ポンプ操法に臨みました。(7面に関連記事)

選手は声援の中、全力を出し切りましたが、惜しくも上位入賞は果たせませんでした。しかしながら所要タイムは、出場分団中最速を記録しました。

このことは大いに賞賛すべきことであると同時に、今後、規律ある消防団活動に活かされることと思えます。

選手はじめ山本分団全員が協力しての操法訓練、本当にご苦労様でした。

(広報部)

精鋭17名集う



任命式行われる!

平成13年3月30日(金)、新団員の任命式が消防本部で行われました。

本年度は、新たに17名が消防団員としてスタートすることになりました。

そこで新団員の皆様に、

- ①職業
 - ②趣味
 - ③入団しての抱負
- を聞いてみましたので紹介します。

新団員紹介



武林広高
(八尾分団)

- ①金型設計製作
- ②スノーボード・ドライブ
- ③「処置より予防」の心がけを地域の人々に呼びかけたと思います。



小川元清
(八尾分団)

- ①不動産賃貸業
- ②車・バイク
- ③地域防災に、自信を持って活動できるよう努力していきます。



岡本幸祐
(八尾分団)

- ①会社員
- ②車・ドライブ
- ③自分なりに社会に貢献できるように頑張ります。



小瀧有洋
(曙川分団)

- ①建設業
- ②ゴルフ
- ③防災活動に微力ながら地域住民のために頑張ります。



濱口好之
(曙川分団)

- ①会社員
- ②ゴルフ
- ③パトロールを強化して地域から火災をなくすよう頑張ります。



竹下健一
(山本分団)

- ①建設業・レーシングメカニック
- ②特になし
- ③現場において少しでも役にたてるよう頑張ります。



松本直也
(志紀分団)

- ①会社員
- ②パソコン
- ③以前自宅が火事になった時、様々な方にお世話になりました。恩返しのため頑張ります。



山口通伸
(志紀分団)

- ①会社員
- ②旅行
- ③市民の安全を守っていきけるよう頑張っていきます。



湯田真二郎
(志紀分団)

- ①会社員
- ②スポーツ・ソフトバレーボール
- ③消防活動に団員としての誇りを持ち頑張ります。



加用眞二
(志紀分団)

- ①ダクト工
- ②スキー・パチンコ
- ③迅速かつ的確な活動に臨みたいと思います。



西川知広
(志紀分団)

- ①自営業
- ②スキー・ラグビー・魚釣り・雅楽
- ③消防の知識と経験を積み重ね人々の役に立てるよう頑張ります。



北山 克
(志紀分団)

- ①製造業
- ②登山・フルマラソン
- ③消防団員としての誇りを持ち現場で役にたてればと思います。

分団特集

高安分団2005年問題

広報部員 小西光往

私たち高安分団は、八尾市の北東部に位置し、北部・東部・中部・南部の4分団から成っています。現在、斎当分団長以下30名、積載車4台で活動に当たっています。主な活動は、火災出場はもとより、春・秋の火災予防運動週間の巡回広報、高安地区の行事参加や、警戒警備、また月1回の車両点検、会議等があります。分団の特色としては、9地区から各2〜4名選出され1個分団として活動している点にあると思います。八尾市の中でも、これほどの地区が一つの分団となつている所は少ないのではないのでしょうか。

さて、他の分団も同様の悩みや問題を抱えておられると思います。我が高安分団もご多分にもれず、消防団



活性化に伴う2005年からの定年制に頭を悩ましております。理由は、現在活動されている団員も高齢化が進み、またサラリーマン化等により入団希望者が減少しているからです。世代交代をスムーズに行うため、2年程前から分団としてこの問題に取り組み始めました。分団会議や各地区の区長さんに要望を伝えたりし、その集大成として、高安地区自治振興委員会の皆様と会合をもちました。高安分団の現状を知ってもらおうとともに、

今後の新団員の選出方法や年齢についての要望を出し、互いに十分話し合いました。なかなか、一朝一夕に物事は進みませんが、これからもこういう場を持ち、分団と地域が相互理解を深め、努力していけば、世代交代もスムーズに行くのではないのでしょうか。こういった努力が実つたのかどうかは分かりませんが、昨年10月に1名、今年5名の新団員が誕生しました。今後は、新団員が活動しやすい団運営も考えて行かなければならないと思います。

新団員紹介



谷口年秀 (高安分団)

- ①建設業
- ②ドライブ
- ③精一杯頑張ります。(昨年10月任命)



松田充弘 (高安分団)

- ①造園業
- ②ゴルフ
- ③団員の皆さんに迷惑をかけるまいよう精一杯頑張ります。



阿利光宣 (高安分団)

- ①プラスチック加工業
- ②特になし
- ③マイペースで頑張ります。



神谷明睦 (高安分団)

- ①造園業
- ②ドライブ
- ③精一杯頑張ります。



東藤 正 (高安分団)

- ①自営業
- ②釣り・キャンプ・バイク
- ③地区の人々や他の団員の皆さんの力になれるよう頑張ります。



山脇孝夫 (高安分団)

- ①造園業
- ②音楽鑑賞・野球
- ③先輩の団員の皆様に色々な事を教わりながら力を合わせて頑張ります。

分 団 2 0 0 1 年

イ と フ オ メ ー ジ ョ ン

八尾分団

普通救命講習会

去る7月8日(日)萱振集会所にて、八尾市消防本部救命士の方々の指導のもと、心肺蘇生(人工呼吸と心臓マッサージ)の訓練が行われました。

当日は、暑い日にもかかわらず、朝早くから私たち消防団員と地域の方々約40名が参加しました。まず、救急車が到着するまでの間(平均約6分間)に手当をしないのと、的確な応急手当をしているのでは、その後の救命率に格段の違いがあると言う話をして頂きました。それを踏まえて、実際に訓練人形を使って心肺蘇生のやり方を指導

して頂き、人がするのを見ていると簡単そうに見えても、いざ自分がやってみると順番を間違えたり、空気がうまく入らなかつたりと戸惑っていたりもしましたが、命にかかわる事なので、皆さん真剣に取り組んでおられました。最後に、参加された方全員に普通救命講習修了証が渡されました。

(岡本・武林)



西郡分団

だんじりお披露目会

5月27日(日)に幸第二公園において、「地域の活性化、時代を担う子供たちのために、もつと西郡天神社の秋祭りを有意義な祭りにした」という思いで結成された秋祭り実行委員会が、今回新たにだんじりを購入し、「だんじりお披露目会」が開催されました。

当日は、およそ600人の参加があり、カラオケ大会・模擬店・バザーが盛大に行われ、だんじりを子供たちが曳いて回りました。地域内をだんじりが運行するにあたり、日頃から地域行事に参加している私たち消防団も、子供たちの安全確保のため、だんじりの先頭

に立ち警備を行いました。

今後も防災活動はもとより、地域の様々な活動に参加、協力し、地域を活性化させ、安全で住みやすい地域になるよう努力していきたいと思います。

(原田・小笠原)





私たちの分団では、毎年1回親睦旅行を行っています。2、3年前から3つのポイントが重要視されるようになりまし

た。

①貸切りバスで酒類、ギター等を持ち込み最初から盛り上がる。

②マイナーな観光地を巡る。

③公営ギャンブルを楽しむ。

今年4月7・8日の実施となり、1日目は常滑焼で有名な常滑市を訪れました。目的地は常滑競艇場で、一人を除く全員が初めての体験でした。宿泊地



今回は、今仲茂さんを御紹介しましょう。生まれは千早赤阪村で年齢は45才、現在は南木の本7丁目において酒店を営んでおられます。消防団の他にも民主商工会で副会長をされる等、多忙な毎日ですが、火事の時はいつも一番先に車庫に行き出動準備を整えてくれています。また、地域の地理にも詳しく、出動時はいつも助手席に陣取り、運転手に指示を出す頼もしきナビゲーターです。

そんな今仲さんの趣味は、和骨董の収集と今流行のガーデニングだそうです。暇を見つけては屋上



の西浦温泉では宴会で盛り上がり、2日目はJRのトロッコ列車に乗り、満開の桜と溪谷美を楽しみ、鳳来寺山を巡って帰途に着きました。残念ながら私たちの分団では、家族の親睦旅行は、まだ実現に至っていません。

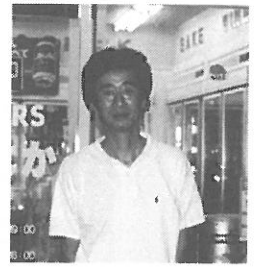
これからも一層の親睦を深め恒例の旅行を続けていきたいと思っています。

(志村)

龍華分団の活動として今年9月より毎月1回、消防車による放水訓練と整備点検、そして夜間の防災活動として、地域内での巡回を実施することに決めました。決めるのは簡単ですが、各団員の仕事や休みが異なる中、できるだけ全員が参加でき、続けて行けるように頑張りたいと思います。

また、分団でオリジナルTシャツも作成、地域の盆踊りの警備等で着用し、夏季の団活動では大変好評で、これからもさらなる活性化を進めたいと思います。

(岸)



で、こつこつと娘さんとガーデニングにいそしんでおられます。時には、山や野に出かけて自然観察や植物採取をして、ガーデニングに活かしておられるのです。

(中村)



5月20日(日) 恩智総池にて、林野火災を想定した、大規模な総合訓練を実施しました。

訓練内容は、

①道路での倒木除去訓練

②大規模な火災時の水利確保訓練

③延長ホース中継送水訓練

④火点の延焼拡大対応訓練

⑤林野火災での伝達訓練

以上の5項目でした。

訓練当日は、前夜の2度にわたる林野火災出動の疲れもみせず、早朝より、参加者全員が、日々の訓練成果を発揮し、さらなる技術修得を行いました。

(森山)



幹部視察研修

鳥取県西部地震

被災地を尋ねて

志紀分団 分団長 阪上政義

新緑の香りが心地よい5月11日、分団長に就任して初めて視察研修に参加しました。視察先は、昨年の10月6日にM7.3の地震に見舞われた、鳥取県西部広域行政管理組合と米子市消防団です。米子市は、山陰のほぼ中央に位置し、人口は13万8千人・面積105.71km²で、米子空港・JR線・米子自動車道と、交通の便もよく、山陰の玄関口となっています。

消防団は、団長以下465名25個分団で、消防ポンプ自動車など22台を運用し、地域防災の要として活躍されています。

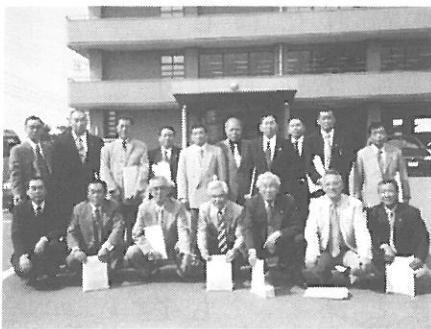
研修の中で、鳥取県西部地震の話があり、被害状況は、1515棟の家屋が全半壊し、負傷者148人とかつて無い大災害であったことが、震源が山間部であったことや、発生時は昼食時を過ぎており、火気の使用が少なかったことなどから、幸いにも、死者・火災の発生が無く、ライフラインの復

旧も早かったとのことでした。

消防団の活動は、地震発生後直ちに団員を召集し、危険箇所の警戒や巡回、被害状況の調査、そして公民館等の避難所で避難者の把握や、食事等の世話など3日間、職員と同様に活動したそうです。

米子市消防副団長が、「この活動により団員間の更なる結束と、地域住民からの深い信頼が得られたことは、非常に大きい収穫であり、消防団員としての誇りと、今後のやりがいにつながった。」と語っておられました。

この研修を通じ、志紀分団も地域から信頼される消防団、大規模災害に対応出来る消防団、そして若者へと受け継がれる消防団を目指すため、分団長として頑張る決意を新たにしました。



(西部広域行政管理組合前にて)

恩智川水防訓練

5月16日(水)、当市消防団20名(久宝寺・西郡・八尾・高安分団より選抜)、及び東大阪市消防団61名の計81名が参加して、福万寺治水緑地において恩智川水防訓練が行われました。訓練は、土のう作りに始まり、4種類の水防工法が施行され、我が八尾市消防団は、木田小隊長(久宝寺分団長)の指揮のもと「杭打ち積土のう」を担当しました。



当日は、5月というのに厳しい暑さの中、小隊長の号令のもと、4個分団合同とは思えない見事な協力で、短時間で確実な「杭打ち積土のう工」を完

成させました。

入団2年目で初めて訓練に参加した団員は、「とても暑かったが、貴重な体験をさせてもらいました。」また、ある団員は、「全身泥だらけになりましたが実際に災害が発生した時は、こんな晴天ではないはず。大雨の中で今日の

ように素早く行動しなければ。」と話してくれました。木田小隊長は、「皆さんの一致団結、協力が災害から地域を守るんだ、ということを再確認しました。また、訓練に参加した団員の皆様暑い中ご苦労さまでした。」と締めくくってくれました。

(久宝寺分団 横山)

八消会ゴルフコンペ

6月21日(木)、第18回八消会親睦ゴルフコンペが奈良柳生カントリークラブで、松村団長以下67名が参加して行われました。

(南高安分団 畑中信)

栄えある上位入賞者は、次のとおりです。

- 優勝 坂井 弘明(高安)
- 準優勝 松本 圭司(久宝寺)
- 3位 西村 敏昭(志紀)



消防操法訓練大会

山本分団はこの訓練大会に向け、分団長を筆頭に47名が一丸となり、5月から4ヶ月間にわたり、週2、3回の合同訓練、そして各分隊での訓練と、選手たちは片時も操法のことを頭から離れなかつたことと思います。

努力の結果、8月には目標の45秒台を常時出せるようになり、大会当日には、44秒台の大会並びに自己のベストタイムを出しましたが、惜しくも上位入賞には至りませんでした。

向井分団長は、「この訓練を通じて、山本分団の結束がより一層強くなったことが何よりの収穫でした。」との事で、選手たちも、「厳しい訓練をやり遂げ、力を出し切り満足です。」と語ってくれました。最後に指導頂いた警防課の方々、激励して頂いた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

(山本分団 向井大)

- 出場選手
- 指揮者 堤下富彦
 - 1番員 岩崎孝次
 - 2番員 竹下健一
 - 3番員 上西純一

志紀地区にて 大規模防災訓練

9月9日(日)、志紀小学校で、八尾市長をはじめ防災関係機関等1120名が参加して八尾市防災訓練が実施されました。

訓練は、M7.2の直下型地震により八尾市内でも甚大な被害が出ているとの想定で、官民一体の緊迫した訓練となりました。

志紀分団も、自主防災組織と連携した避難誘導訓練や初期消火訓練・救出



また消防署との合同による延焼阻止消火訓練などを行いました。

本当に

このような事が起こらないことを祈りつつ、起こった時は「みんなの協力と連携で地域を守る。」、そのためには地域に密着している私たち消防団が、各機関とのパイプ役として、迅速な対応をしなくてはならないと強く感じました。

(志紀分団 近江)

初任・幹部教養

5月13日(日)、初任・幹部団員教養研修が、大阪府立消防学校にて行われました。初夏の強い日差しの中、まず消防団の組織や歴史等の講義が行われ、その後、私たち新入団員は訓練礼式やポンプ操法などの基礎的な知識、技術の修得に汗を流しました。

学生の時以来の整列や行進等に、始めのうちは戸惑いましたが、訓練が進むにつれて、次第に声も大きくなり、全体がまとまりを保てるようになり、組織活動の行動力、心強さを感じました。

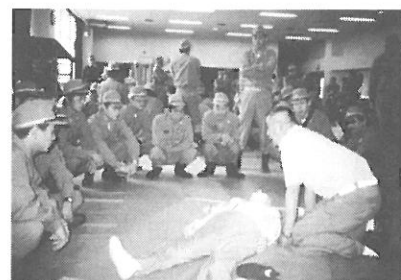
また、実践に必要なポンプ操法なども教わり、自分にも出来るのだろうかという不安感が少し解消されました。



この研修を基礎に、実践を通して積極的に行動していこうと思います。

(八尾分団 小川元)

技術講習



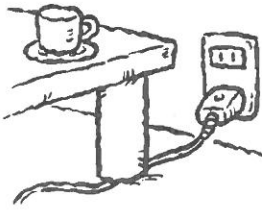
6月24日(日)、消防本部研修場において、団員104名が参加し、安全運転講習と救急応急手当の講習が開かれました。

安全運転講習では、ビデオを鑑賞しながら日頃運転している中でのスピードや、目の錯覚によって起こる事故、また右折・左折時の注意事項、そして緊急時の消防車の運転に関する注意事項を受講しました。

もう一つの救急応急手当の講習では、痛みの軽減、症状悪化を抑える処置や呼吸停止時の心肺蘇生技術を参加者全員が、訓練人形を使って実際に体験し、人命を救う技術を修得しました。

(曙川分団 吉川)

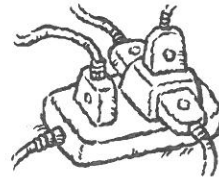
えっ!!こんな所から!? まさかの 火 災



重いものを
のせない

●半断線
家電の下敷きや壁に押し付けられ、コード内に流れる電流の道が切れて出火すること。
コードは、無理な圧力がかからないよう気をつけましょう。

タコ足配線をしない



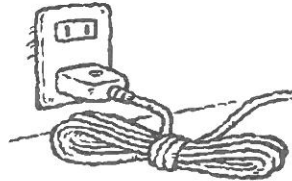
●過電流
たこ足配線でテーブルタップの容量をオーバーして使い、プラグが熱を持って出火すること。電気機器の容量を確認し正しく使用しましょう。

「火のないところに煙はたたない」といいますが、最近火の気のないところからの火災が増えています。「わが家は大丈夫」と思わないで家中をもう一度点検しましょう。

プラグにほこりを
ためない



●トラッキング現象
コンセントにたまったホコリと湿気により電流が火花になって燃焼する現象。
ホコリや湿気が多くとまるような場所のコンセントはこまめに掃除しましょう。



コードをたばねない

●熱の蓄積
電気コードを束ねていたり、コードリールに巻きつけたまま使用していると、電気の熱がたまってそこから出火すること。束ねたり、巻き付けての使用は止めましょう。

秋の全国火災予防運動 11月9日～15日 「たしかめて。火を消してから 次のこと」

消防団員募集中

入団希望の方は消防団事務局まで問い合わせして下さい。

八尾市高美町5-7
八尾市消防本部 警防課内
TEL0729-92-0119 (代)

消防団年間行事予定

11月2日(金)	厚生事業(ボウリング)
11月5日(月)	消防総合訓練 若草団地
11月9～15日	秋季火災予防運動
11月17日(土)	健康診断
11月17日(土)	幼年防火フェスティバル
12月29・30日	歳末特別警戒
1月13日(日)	消防出初式
1月予定	防災ボランティア訓練
1月予定	文化財訓練
3月1～7日	春季火災予防運動
3月予定	消防総合訓練
3月24日(日)	大阪府消防表彰式
3月末	広報紙発刊

広報部会名簿

委員長	久宝寺分団	横山典久
副委員長	龍華分団	泉良幸
委員	大正分団	中村浩之
	久宝寺分団	志村昌行
	西郡分団	原田昌
	八尾分団	小笠原志一
	龍華分団	武川元志
	大正分団	岸林広
	曙川分団	川北雅弘
	南高安分団	奥田三司
		吉川公庄
		寺岡利義
		松岡利敏
		森中山浩
		畑中山有
		市田信光
		小西光
		近藤日出
		松上田
		阪谷大賀
		中山賀
		向井大賀
		丸井大賀
		近江弘行

編集後記

火の見櫓も今回で第8号、毎回色々な記事を集めて頂き皆さんご苦労様! 次号もたくさんのお記事お待ちしております。

(泉)